

Doctor's Data 社 Serum Elements 検体作成手順

検査を始める前に:

説明書をすべて読み、採取手順をよく理解してください。

この検査は特別な食事は必要としませんが、採血を夜間絶食後の朝食前に行うことを推奨します。採血を他の時間に行った場合、検査結果に誤差が生じる可能性があります。検体採取の 72 時間前からは、不必要な薬剤やミネラルを含む栄養補助食品の摂取を医師からの指示がない限り控えてください。処方薬の摂取については、担当の医師への相談、指導を受けることなく服用を中断しないでください。

採血に当たる看護師の方々へ:

溶血した血清は分析することができません。

検査キットの中身:

赤いキャップの血清チューブ.....	1 本
トランスファーピペット.....	1 個
血清を移し替える 8mL トランスファーチューブ.....	1 本 (透明のプラスチックチューブの中に入っています)
トランスファーチューブを保護する透明のプラスチックチューブ.....	1 個
ジップロックバッグと吸収性のパッド.....	1 枚ずつ
保冷剤.....	1 個
検査申込書.....	1 枚
検体作成手順(本用紙).....	1 部

その他、キットと別に(検体の発送にかかわるもの)

FedEx 送り状 (Air Waybill).....	1 枚
インボイス (CUSTOMS INVOICE).....	3 枚
FedEx 検体発送方法.....	1 枚
FedEx UN3373 Pak.....	1 枚 (検体発送時のビニール製封筒です)

キットの中身が不足している場合はデトックスまでご連絡下さい。

株式会社デトックス (Detox Co., Ltd.)

Tel: 03-5876-4511, Fax: 03-3222-5770, Email: askkensa@detox.jp

キットの外箱は検体を米国ラボに郵送する際に使用しますので、破棄しないでください。

検体作成手順(夜間絶食後の朝の採血を推奨)

1. 赤いキャップのチューブに採血をします。最低 15 分かけて血液を凝固させ血餅を作ります。
2. チューブを遠心分離機にかけ、血餅から血清を分離させます。
3. ピペットを使って、分離した血清を、血清を移し替える 8mL トランスファーチューブに移します(最低でも 2mL が分析に必要です)。残った血餅と使用済みのピペットは破棄してください。
4. 血清を移し替えたチューブに患者名、検体採取日、患者の生年月日を記入します(英語表記)。チューブに**患者の情報が正しく記入されていない場合、検査は行われません。**
5. 血清を移し替えたチューブを、このチューブを保護する透明のプラスチックチューブの中に入れます。保護チューブをジップロックバッグに入れ、閉じてください。保冷剤をジップロックバッグの後ろにあるポケットに入れ、ジップロックバッグを冷凍庫で最低 6 時間冷凍します。
6. 最低 6 時間の冷凍後、血清を移し替えたチューブ入りの保護チューブと保冷剤入ったジップロックバッグを冷凍庫から取り出し、キットの外箱に入れます。
7. 検査申込書の採取情報欄(右上部)に、検体採取日と採取時間を記入し、患者が夜間絶食をしたかどうかを「Yes」か「No」にチェックして示してください。
8. 検査申込書へ漏れなく必要事項を記入してください。また担当医の署名があることを確認してください。**正しく申込書が記入されていない場合、検査は行われません。**正しく記入した申込書は検体と一緒に外箱に入れてください。血清検体・検査申込書を入れたキットの外箱を検体発送用 FedEx UN3373 Pak に入れ封をします。以上をもって検体の発送準備が整います。
「FedEx 検体発送方法」をご覧ください。

最良の検査結果を得るためにも、できる限り早い検体の発送を推奨します。週末や祝日など、採取日に発送が出来ない場合は、発送の準備が整うまで検体を冷凍してください。